

令和 6 年度

## 保育園の自己評価表（園長用）

社会福祉法人慈愛会 諸富保育園

園長名 野田慈子

・今年度の本園の保育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かせる方向で記入してください。

評価…次の基準によって評価欄にA、B、C、Dと記入する

よくできた	A
できた	B
一部改善が必要	C
改善しなければならない	D

### 1、保育の理念・保育観

内容	評価	自由記載欄
保育士一人一人が、保育園の保育理念・保育方針を理解している	C	今年度より認定こども園となり、新たなスタートとなりはしたものの、理念・方針には子ども一人ひとりの発達状況を踏まえた保育について話し合う時間が取れておらず、園全体の動きが確立されていなかったことが反省点である。
保育園の保育方針を理解して、保育計画が立てられている	C	
常に保育方針や保育観を確認できるような機会をつくっている	C	
一人一人の主体性を大切にした保育をしている	B	
保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感している	B	

### 2、保育の内容

内容	評価	自由記載欄
保育方針のねらい及び内容が達成できるような保育課程や保育計画を立てている	B	クラス担任によっては、月齢、年齢に合った保育、教育専門性に沿った保育を行う等、良く努力して取り組む姿があった。配慮の必要な子に対しての研修も沢山学べた職員もいるが、更に安定した保育を目指したい。
保育計画に基づき、子ども一人一人の発達の姿や興味を把握して、年間計画・月案・週案を立てている	B	
3歳未満児は、現在の姿を理解し、見通しをもって一人一人に応じた保育計画を立てている	C	
配慮の必要な子にはその子に応じた保育計画を立てている	B	

### 3、食育

内容	評価	自由記載欄
食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立てている	A	季節に応じた安全な素材を大切にされた食事を提供できた。栄養士はよく噛む食材や味付けにも気を付けて保育士と栄養士との食育会議も充実した連携が出来、子どもが喜ぶ給食やおやつを食することができた。価格高騰の中でも食材には地産地消をと、買い出しに尽力してくれた栄養士達に感謝している。
栄養士・保育士が連携し、会議等で意見を交わしながら、よりよい給食になるよう努めている	A	
できるだけ、地元の食材や旬の食材を取り入れ、様々な食材を味わえるようにしている	A	
給食やおやつは手作りをしている	B	

### 4、職員構成・役割分担・研修

内容	評価	自由記載欄
職員の仕事や役割が明確であり、連携を取って円滑な園経営ができています	B	・研修での学びを園へより沢山取り入れて欲しい。・雇用形態や経験年数に関わらず、全職員がリスクに気付き、事故を回避できる安心、安全な保育環境を提供できればと思う。なかなか職員を心ひとつにまとめるのが難しい。努力するしかない。
危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制ができています	B	
職員が各委員会に所属し、園の保育や内容を深める為に、それぞれが活発に活動している	C	
園内研修と園外研修の計画を立て、実行している	B	
施設設備や遊具等の安全点検を行っている	B	

### 5、保護者支援

内容	評価	自由記載欄
保護者と良好な関係を作ろうとしている	A	保護者からの相談や意見に対して何かあった場合は、園長として最終的にバックアップできるように気掛けていた。今年度は行事等で思いも寄りぬ困った保護者からの要望があり、頭を抱えてしまったが、まずは子どもの心に寄り添う事とその担任の気持ちを尊重しつつ保護者と向き合うことに前向きに取り組んであげることにより、無事に卒園させることができて安堵した。
園の保育内容や子どもの姿がわかるような発信をしている	B	
保護者の状況を理解し、個人情報の漏洩に気を付けている	B	
子育てのパートナーとして、保護者の子育ての大変さや悩みを理解している	B	

## 6、子育て支援

内 容	評 価	自 由 記 載 欄
地域に開かれた園として、日々子育てをしている親子を受け入れている	B	子育て応援にあたり、子育て中の親同士による支え合いも大切であると共にもっと地域の子育て力の向上に交流も加えながら何か役に立つ事がないか職員で試行錯誤しながら子育ての不安や悩みが解消できればと考えている。
地域で子育てをしている親子の交流の場となるように努めている	C	
子どもの心身の発達や育児不安について、気軽に相談できるようにしている	B	
園生活の子どもの様子を地域にも発信している	B	

## 7、小学校や地域社会との連携

内 容	評 価	自 由 記 載 欄
定期的に小学校と交流をおこなっている	B	学びの接続期プログラム「えがおわくわく」第8版を参考利用しながら育ち続ける子どもたちを安心感の中で育ていけるように、これからもどんどん情報や実践を小学校と共有できればとこれからも頑張りたい。
定期的に小学校や幼稚園との会議や職員交流を行っている	B	
高齢者との交流を深め、高齢者の方を敬う気持ちを育てている	B	

## 改善・検討策など

令和6年度ほど職員間の人間関係にトラブル問題が発生した年度はなかった。しかも、その内容も、ただ単に各々個人の自己中心的な保育観からうまれた問題で、何でこんな小さなことが大きくチームワークが崩れかけるのか…。頭を悩ませた年で、私も本当に誰をどう言葉かけをしようかと神経をつかった。どうせ何を言っても批判されるのであれば自分が正しいと思うことをやろうとまで固く決意した日もあった。「大変」な時は「大」きく「変」われる時。この言葉を次年度へ向けて自分は尊い命の輝かしい未来ある子どもたちの為に、柱をしっかりと立て直して、日々の保育に励みたいと思う。



社会福祉法人 葛葉会 保育所型認定こども園

もろ ども ほ いく えん  
**諸富保育園**